平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年７月31日

上 場 会 社 名　日本ガイシ株式会社　　上場取引所　東・名
コ ー ド 番 号　5333　URL　http://www.ngk.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　加藤　太郎
問合せ先責任者　(役職名)　財務部長　(氏名)　神藤　英明　(TEL) 052-872-7230
四半期報告書提出予定日　平成25年８月９日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	68,468	10.3	8,572	15.5	9,030	58.3	6,043	47.1
25年３月期第１四半期	62,099	2.9	7,420	△13.3	5,702	△32.2	4,107	△32.5

(注)　包括利益　26年３月期第１四半期　16,555百万円(　903.9%)　25年３月期第１四半期　1,649百万円(　△84.6%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	18.51	18.47
25年３月期第１四半期	12.58	12.56

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	575,080	316,256	53.2
25年３月期	563,030	303,073	52.0

(参考)　自己資本　26年３月期第１四半期　305,800百万円　25年３月期　292,672百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	10.00	20.00
26年３月期	－				
26年３月期(予想)		10.00	－	10.00	20.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	138,000	13.4	14,000	23.6	14,000	75.5	9,000	680.5	27.56
通期	280,000	10.8	28,000	35.3	29,000	31.6	22,000	92.6	67.37

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)　：無

新規　　ー社（　　）、除外　　ー社（　　）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：有
③　会計上の見積りの変更	：有
④　修正再表示	：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当する変更を行っております。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	337,560,196株	25年３月期	337,560,196株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	10,999,244株	25年３月期	11,010,888株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	326,556,739株	25年３月期１Ｑ	326,514,313株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

(1) 経営成績に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 財政状態に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

(1) 四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(継続企業の前提に関する注記) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(セグメント情報) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における日本経済は、金融緩和や各種経済対策への期待から国内需要の底堅さが増し、回復傾向が見られました。海外では、新興国の成長鈍化や、欧州の緊縮財政による影響が見られた一方、米国経済は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループにおきましては、セラミックス事業において、自動車関連製品で中国市場や米国市場の自動車販売が好調だったこと等から、触媒用セラミックス担体（ハニセラム・大型ハニセラム）やコージェライト製ディーゼル・パティキュレート・フィルター（ＤＰＦ）等の需要が増加いたしました。エレクトロニクス事業は、半導体製造装置用セラミックスの市況回復等により需要が増加いたしました。電力関連事業は、一部出荷案件が下期へ繰り越されたほか、国内需要が引き続き低迷したことから低調に推移いたしました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、電力関連事業で減収となったものの、セラミックス事業や、エレクトロニクス事業の増収により、前年同期比10.3%増の684億68百万円となりました。利益面でも、売上高の増加や為替影響により、営業利益は前年同期比15.5%増の85億72百万円、経常利益は同58.3%増の90億30百万円、四半期純利益は同47.1%増の60億43百万円となりました。

事業の種類別には、電力関連事業では売上高は前年同期比1.6%減の134億30百万円、営業損益は３億66百万円の営業損失（前年同期は14億94百万円の営業損失）、セラミックス事業では売上高は同18.1%増の412億11百万円、営業利益は同6.0%増の83億25百万円、エレクトロニクス事業では売上高は同2.2%増の139億２百万円、営業利益は同43.7%減の５億99百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産合計は5,750億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ120億50百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金が減少した一方で、有形固定資産や有価証券、投資有価証券等が増加したこと等によるものであります。

負債合計は2,588億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億32百万円減少いたしました。これは、長期借入金が増加した一方で、ＮＡＳ電池安全対策引当金や支払手形及び買掛金等が減少したことによるものであります。

また純資産合計は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ131億82百万円増加し3,162億56百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、セラミックス事業の自動車関連製品で中国市場や米国市場の需要がここまで堅調に推移したことや、エレクトロニクス事業の半導体製造用セラミックス製品市況の回復に加え、為替レートが前回予想の前提に比べ円安で推移していること等から、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益いずれも平成25年５月に発表した業績予想を上回る見通しです。対象期間の期中平均レートは、１米ドル99円、１ユーロ128円としております。

なお、通期の業績見通しにつきましては、ガイシ事業で厳しい環境が継続しているほか、新興国経済の動向、米国経済の回復ペース等、今後の業績に不確定な要素が多いため、現時点では前回の業績予想を据え置いております。通期業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。上期の為替レート想定は１米ドル99円、１ユーロ128円、下期の為替レート前提は、１米ドル90円、１ユーロ120円としております。

業績予想につきましては、当四半期連結会計期間末時点で当社グループが入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

平成26年３月期第２四半期連結累計期間の連結業績予想（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	135,000	12,000	10,000	8,000	24.50
今回修正予想（B）	138,000	14,000	14,000	9,000	27.56
増減額（B－A）	3,000	2,000	4,000	1,000	3.06
増減率（%）	2.2%	16.7%	40.0%	12.5%	―
(ご参考)前年同期実績 (平成25年３月期第２四半期)	121,665	11,330	7,977	1,153	3.53

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、有形固定資産の減価償却の方法について、海外連結子会社では定額法、当社及び国内連結子会社では、建物（建物付属設備を除く）は定額法、その他の有形固定資産は定率法を採用しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法についても定額法に変更しております。

当社グループにおいては、グローバルな最適生産体制の構築を中長期的な経営戦略として掲げ、積極的に海外子会社の設備投資を実施したことを契機に、国内の有形固定資産の使用状況を調査した結果、使用期間を通じた安定的な稼動が見込まれることから、統一した会計処理方法のもと、経営実態をより適切に反映するために、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法を定額法に変更いたしました。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、当第１四半期連結累計期間の減価償却費は718百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ510百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,542	41,663
受取手形及び売掛金	59,062	55,364
有価証券	81,735	85,294
たな卸資産	95,944	96,331
その他	27,393	24,781
貸倒引当金	△109	△109
流動資産合計	303,568	303,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,464	52,947
機械装置及び運搬具（純額）	64,189	67,515
その他（純額）	47,231	52,124
有形固定資産合計	163,884	172,586
無形固定資産	5,390	5,468
投資その他の資産		
投資有価証券	66,124	69,292
その他	24,284	24,628
貸倒引当金	△223	△222
投資その他の資産合計	90,186	93,699
固定資産合計	259,462	271,754
資産合計	563,030	575,080
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,268	22,331
短期借入金	5,107	4,805
未払法人税等	1,461	1,058
ＮＡＳ電池安全対策引当金	21,018	16,527
その他の引当金	1,698	917
その他	31,791	28,698
流動負債合計	86,346	74,339
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	130,709	141,187
退職給付引当金	16,166	16,469
製品保証引当金	358	387
その他	6,375	6,441
固定負債合計	173,610	184,485
負債合計	259,957	258,824

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	85,135	85,135
利益剰余金	167,219	169,993
自己株式	△14,362	△14,346
株主資本合計	307,842	310,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,964	11,253
繰延ヘッジ損益	22	17
為替換算調整勘定	△21,030	△13,871
在外子会社の退職給付債務等調整額	△2,127	△2,229
その他の包括利益累計額合計	△15,170	△4,830
新株予約権	739	722
少数株主持分	9,661	9,733
純資産合計	303,073	316,256
負債純資産合計	563,030	575,080

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	62,099	68,468
売上原価	41,319	46,307
売上総利益	20,780	22,160
販売費及び一般管理費	13,359	13,588
営業利益	7,420	8,572
営業外収益		
受取利息	221	170
受取配当金	343	533
為替差益	－	1,149
デリバティブ評価益	238	－
その他	147	456
営業外収益合計	952	2,309
営業外費用		
支払利息	408	501
為替差損	1,387	－
デリバティブ評価損	－	498
持分法による投資損失	641	706
その他	232	144
営業外費用合計	2,669	1,851
経常利益	5,702	9,030
特別利益		
固定資産売却益	12	363
特別利益合計	12	363
特別損失		
固定資産処分損	21	42
特別損失合計	21	42
税金等調整前四半期純利益	5,694	9,351
法人税、住民税及び事業税	1,102	1,373
法人税等調整額	446	1,885
法人税等合計	1,548	3,259
少数株主損益調整前四半期純利益	4,145	6,092
少数株主利益	38	49
四半期純利益	4,107	6,043

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,145	6,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,427	3,297
繰延ヘッジ損益	△8	△4
為替換算調整勘定	△88	7,273
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
在外子会社の退職給付債務等調整額	29	△102
その他の包括利益合計	△2,496	10,463
四半期包括利益	1,649	16,555
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614	16,382
少数株主に係る四半期包括利益	34	173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	電力関連事業	セラミックス事業	エレクトロニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,642	34,853	13,603	62,099	－	62,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	40	－	47	△47	－
計	13,649	34,894	13,603	62,147	△47	62,099
セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））	△1,494	7,850	1,064	7,420	－	7,420

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額
	電力関連事業	セラミックス事業	エレクトロニクス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,426	41,139	13,902	68,468	－	68,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	72	－	75	△75	－
計	13,430	41,211	13,902	68,543	△75	68,468
セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））	△366	8,325	599	8,558	13	8,572

(注) １．セグメント利益又は損失（△）の調整額13百万円は、セグメント間取引の調整であります。

２．会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産の減価償却の方法については、建物（建物付属設備を除く）以外は定率法を採用しておりましたが、当第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、「電力関連事業」でセグメント損失が93百万円減少、「セラミックス事業」でセグメント利益が289百万円増加、「エレクトロニクス事業」でセグメント利益が127百万円増加しております。